

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トウ・ミー

To Me

7

Jul 2016
Vol.254

ときめき人
迫愛会ジュニアバレーボール
スポーツ少年団

【特集】

自守防災

【今月の表紙】

新田小総合的な学習の時間
「ふゆみずたんぼ」から

Proud!

被災地の復興を支援しよう

Japan



自 守 防 災

2011年に発生した東日本大震災。
市内では死者はなかったものの、水道や電気などのライフラインに大きな被害を受け、避難所暮らしを強いられた市民も少なくない。
2009年、台風18号の影響で、南沢川と北沢川の合流点から越水。

津山町横山地区では床上、床下浸水で80棟以上の住居が被害を受けた。
本年4月、熊本地震が発生。想定外の地で想定外の災害が発生している。
いつ来るか分からない災害から、大切な命や古里を守るために、何が必要かを考える。

実効性ある自主防必要

本市では、大規模な地震や水害が発生している。

1948年にカスリン台風により中田町大泉堤防の決壊、78年に宮城県沖地震、2009年に津山町横山地区で台風18号の影響で河川から越水、そして11年には東日本大震災。

このような大災害に対応するため、市内では全行政区で300の自主防災組織が結成された。しかし、自主防災組織は本当に必要なものだろうか。

近年発生している災害は、私たちの予想を超える「想定外」と呼ばれるものが増えている。東日本大震災の津波の高さは、最大で20mを大きく超えた。
熊本地震も、本震の前に余震が発生したり、50日間も揺れ続けたりした。大地震は想定できても、長期間揺れ続けるものは想定できなかった。
大地震は、地震火災を引き起こす。地震で配線類がショート、ガスを消せないことで、火災が発生。このとき、

道路が寸断して消防車がこれなかったら「消せない火災」となってしまう。少しでも被害を減らすためには、バケツリレーなどで初期消火しなければならぬ。

自主防災組織の主な役割は、災害時の地域の安否確認や、避難所運営などの共助活動だ。しかし、消火活動も必要となることがある。

このようなことから、消防団だけではなく、自主防災組織は必要なのだ。そして組織するだけではなく、いざというときに、動けるものでなければならぬ。

72時間を過ごすため

平成28年市総合防災訓練は6月5日、消防防災センターを会場に開催された。訓練は各町域の自主防災組織の防災力向上を目的にしており、本年は豊里町住民を主に約300人が参加した。

訓練では、避難所設営までの図上訓練やバケツリレーでの消火活動、心肺蘇生法や身の回りにあるものでの止血法などの救急救命処置、炊き出しなどを実施。基本的なものではあるが、災害現場で必ず必要となるメニューを実践した。

市からの情報提供手段を確認

防災行政無線



現在、市内全域に386機設置している。午前7時と午後4時に市からのお知らせを、町域ごとに放送。災害などの緊急時には随時放送し、いち早く市民に情報提供をする。

市メール配信サービス



防災、防犯、市の行事などを、登録されたメールアドレスに随時配信。パソコン、携帯電話、どちらでも登録可能。
登録用 URL : <http://tomacity.mail-dpt.jp/>

H@!FM (ハットエフエム)



毎日、各種市政情報を定刻に放送している。災害や犯罪などの緊急時には、随時情報を放送する。東日本大震災時には、唯一の情報発信手段として活躍した。
H@FM! : 76.7MHz

大規模災害が発生した場合、「72時間」という時間をいかに過ごせるかが鍵となる。①72時間を超えると被災者の救出時の生存率が著しく低下②人間が水分を取らずに済む限界など、人の命に直結した時間なのだ。反面、72時間を無事に過ごせれば、生き延びる確率が一気に上がる。災害で被災し、命を落とす要因となるのが①低体温症②脱水。

東日本大震災で、沿岸部の人たちは津波にのまれ救出されながらも、生き延びられなかった人も多い。その要因となったのが低体温症だ。あの時は3月だったが、雪が降るなど気温が低かった。津波で体がずぶぬれになり、着替えや体を温めるものがなかったため、息を引き取った人が少なくない。脱水については、熱中症がその例に挙げられる。夏場に、家の中で熱中症が原因で倒れたり、命を落としたりする人が少なくない。仮に真夏に災害が発生し、着の身着のまま逃げ出し、飲み水が確保できなくなれば、その結果は見えるだろう。これからの季節、暖かいからといって油断は禁物。非常持ち出し袋に、低体温症対策としてしっかりとした雨がっぱを、脱水予防として1日当たり3リットルの飲料水を追加してほしい。

熊谷 康成 さん (津山町横山5区)

地域で連携をし、対策を考える

私は自営業で、台風18号の水害の時は、家で昼休みの時間帯でした。決壊して20分ほどで、床上に浸水。本当に一瞬でした。自宅から避難所の横山小学校に行く経路は、

国道45号線しかありません。水害後、横山地区で「人名財産を守る会」を発足し、横の連携を強化しました。今後も、守る会で避難ルートなどを検討していきたいです。



横山地区水害体験者に聴く

市総合防災訓練参加者に聴く



佐藤 長一 さん (豊里町浦軒)

救急救命処置の重要性を実感

市の総合防災訓練に初めて参加しました。避難所設営の図上訓練や、パケツリレーなどもよかったです。特に、救急救命処置の訓練は勉強になりました。そういう場面

には出会いたくないですが、災害などで、いつ誰の処置をするか分からないので、ちゃんと習得できるように、今後も定期的に勉強したいとあらためて思いました。

意識を風化させずに

登米市税務課 千葉 敬実 係長



被災地支援リポート

熊本県御船町で、5月17から24日まで、災害派遣として罹災証明書発行業務を支援した。

そこで感じたのは「被災者ニーズに行政がついていけない」こと。被災者の要望は、次々と増えていく。罹災証明書も、今後の支援などの申請に必要。早く発行してほしいと要望されていた。しかし、職員は避難所運営などで忙殺されている。そこで派遣職員が対応するという状況だった。平常時から、災害を見越しての準備や、意識を持つことの重要性を再認識した。市役所の危機管理体制として、災害時には適材適所の役割分担が必要だと感じた。所属部署を超え、職員が持つ能力を発揮できる場所に割り当てること。この対応ができれば、被災者に余分なストレスを与えないで済むはずだ。

そしてもう一つ大事なことは「意識を風化させてはならない」ということ。この気持ちを持つことが、何より早い対応につながる。

**大切な命を守る技術を
普通救命講習会を開催**

【日時】7月17日(日)午前9時～正午
【場所】消防防災センター
【定員】30人(先着順)
【申込期限】7月10日(日)
【申し込み方法】消防署・各出張所にある受講申込書を記入の上、直接提出または電話でお申し込みください
☎0220(22)2119

地区コミュニティで水害訓練を実施 情報伝達手段と地域の連携が課題

上沼地区は、北上川沿いに位置しています。幼少の頃、カスリン台風で大泉堤防が決壊。被害はほぼ中田町全域に及び、多くの犠牲者が出ました。このようなことから、一昨年末に市の協力を得て地区全体のハザードマップを作成。避難所や避難経路は、各行政区の役員と現地を確



ハザードマップには、情報入手先や浸水状況の目安などが、詳細に書き込まれている

認し決めました。地元に住んでいる人間だからこそ分かることです。

訓練を地区全体としたのは、災害時に単独の行政区だけでは、現場対応できないことを想定したからです。また、訓練は動きを確認するためではありません。「課題をあぶりだす」ためです。どんな課題があるのかは、実際に動いてみないと分かりませんから。

複数上がった課題の一つとして、家中では防災無線が聞こえにくいということです。最近建設された住宅は、機密性と防音効果が高く、外からの音が聞こえづらい。災害時の情報提供は非常に大切なもの。行政には、このあたりの対応をお願いしたいですね。

大規模な災害の場合、防災無線やコ



浅野 盛志 会長
(弥勒寺北)

ミュニティエフエムなどが使えなくなることも予想されます。これに対処するため、現在、全行政区に1台ずつトランシーバーの設置を予定しています。今後は、アパートなど移住した人たちとの連携をどのように取っていくかが課題です。

上沼コミュニティ運営協議会

市内の先進団体に聴く

迫町鉄砲丁行政区

古里を守るため訓練を50年以上継続 顔が見える普段付き合いが命救う

鉄砲丁区は住宅が密集しています。火事が起きたら、地域全体が焼失する恐れがあります。このことから、昔から防火意識が高く、訓練を実施してきました。50年ほど前に防火訓練が始まり、現在は防災に重きを置いて訓練をしています。

訓練は、基本的に内容を変えていませ



燃える小屋をバケツリレーで消火。訓練は全て手作りで、小屋も自分たちで製作したものだ。

ん。多くのことを覚える必要はありますが、災害時に、すべきことをしっかり覚えてもらうためです。災害は、いつ起きるか分かりません。毎回同じ人が集まれるわけではないので、その場にいる人たちで、さまざまな役割を果たさなければならないのですから。

東日本大震災では、発生から15分後に梅ノ木公園へ集まり避難所を開設。テントの設置や炊き出しを始めました。平日昼間だったので、高齢者や専業主婦などが中心。それでも混乱することなく、避難所を運営、地域住民の安否確認ができました。普段からの訓練と、顔が見える人付き合いが実を結んだのだと思います。

当行政区は、移住者などが非常に多い地区。若い世代が多く、地域交流を望まな



島谷 俊雄 さん (左)
澤口 良夫 さん (中)
佐藤 傳 さん (右)

い人もいます。しかし、命を守ることが最優先と、災害時用の名簿作成に協力いただいています。守るべきはプライバシーより命ということです。

今後は、近隣の行政区と連携した災害対応の準備をしていく予定です。

常に代替案を準備

09年の台風18号での水害では、横山地区の指定避難所は横山小学校となっていた。川が決壊した情報を受けた佐々木光男さん（横山5区）は、迫町に子どもを車で迎えに行った。途中、自宅に連絡をする。床上浸水の恐れがあると、言われた。自宅にいた家族は、道路が寸断され、身動きが取れなかった。子どもを安全な場所にと横山小を目指したが、増水で道路が寸断。結果的に、雨足が弱まるのを待ち、東和町から南三陸町を経由し自宅に戻った。

このように、災害現場では当初想定していなかったこと



登米市総務部

星 茂喜 危機管理監

災害の記憶を風化させず 危機管理体制を強化

大規模災害が発生した際に、命を守るためには、「自助」「共助」「公助」の3つが必要だといわれています。

自助とは、家族を含む自分で命を守ること。共助とは、近隣が互いに助け合って地域を守ること。公助とは、市町村をはじめ警察・消防・ライフラインを支える事業者などによる応急・復旧対策活動のことをいいます。

「阪神淡路大震災で生き埋めになった人たちが、誰によって救出されたか」という調査（出典：（社）日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」）があります。救出された人のうち、68%が自力や家族による「自助」、28%が近所の人や通行人などの「共助」、救助隊による「公助」はわずか2%程度でした。このことから、自助、共助の重要性が分かります。

自助力と共助力を、より高めていく備えの一つが自主防災組織です。しかし、結成しただけでは意味がありません。普段から飲料水や保存食を準備したり、救急救命処置や避難所運営の訓練をしたりするなど、日頃からの活動が、有事に動ける組織になるのです。

また、私たち行政の公助も同じで、日頃からの備えが非常に重要です。皆さんの命が助かった後、災害時の「非常」から、いつも通りの「日常」に戻す対応策を迅速に進めなければなりません。

市では東日本大震災後に「災害対応マニュアル」を作成。大規模災害時の基本的な対応法を「目に見える化」しました。職員全員がマニュアルを熟知するだけでなく、突発的な問題に対応できる実効性のある危機管理体制を築いていかなければなりません。



停電で、電話や防災無線が使えない中、情報配信と確保に活躍したアマチュア無線。

が起こる。東日本大震災では、数日停電となったが、市役所も、H@！FMも建物は無事。多少の時差はあったが、H@！FMから情報を発信できていた。しかし、あれ以上の規模の地震で、市役所やH@！FMが被災することも、想定しておく必要がある。

一人一人が災害と向き合い 備えを強化することが 「自守防災」につながる

仮に防災行政無線も、エフエムも、メール配信サービスも使えない場合は、トランシーバーやアマチュア無線などの利用が有効だ。

アマチュア無線は、東日本大震災時に市災害対策本部脇に設置し、情報の確保や発信に大いに役立った。トランシーバーは、自主防災組織での設置が増えてきている。上沼コミュニティ運営協議会の浅野会長は「中継をすれば、地区内全域で受発信できることが分かった。早い段階で全行政区分準備したい」と整備を急いでいる。

に、避難所にたどり着けないこともある。もしくは、避難所が被災する可能性もある。

東日本大震災時に多く見られたのは「ビニールハウス」の活用だ。雪が積もっても払えば落ちる、穴が空いてもガムテープなどで補修できる。そして、収容人数が多いなど、多くのメリットがある。

ここまで挙げた例は、実際に各地で取り組んでいたもの。こういった取り組みを、自主防災組織の訓練に組み込み繰り返し返すことで、より災害時に強い体制が作れる。

一人一人が災害と向き合い、備えを強化していくこと。これが自主防災組織の体制強化「自守」につながっていく。

2016春

叙勲・褒章

不断の努力と永年の功績が認められ

旭日双光章

阿部 泰彦さん（追町・73歳）



1985年に宮城県屋外広告美術協同組合に入組。11年から同組合理事長、東北地区屋外広告美術業組合連合会副会長を務め、地域の活性化につなげるべく、組合組織の確立をはじめ、屋外広告物や景観形成などに尽力。現在もその活動は続いています。

旭日单光章

佐々木 禧市さん（米山町・77歳）



1985年に登米郡登米吉田土地改良区理事に就任。97年に同改良区副理事長、05年から登米吉田土地改良区理事長を務め、農地整備や農業用水利施設の維持管理など、農業の振興と発展に尽力。現在もその活動は続いています。

旭日单光章

高橋 勝利さん（追町・77歳）



1981年に佐沼商工会理事に就任。05年に同商工会会長、12年には宮城県商工会連合会副会長として、地域商店街の近代化と活性化に貢献しました。15年に退任するまでの34年間、地域振興の発展に取り組みました。

瑞宝双光章

尾形 重雄さん（追町・80歳）



1997年に行政相談委員に委嘱されてから現在に至るまで、19年の長きにわたり毎月行政相談所を開設し、地域住民からの苦情、要望などを受け付け。15年からは宮城行政相談委員協議会会長も務め、行政相談制度の普及、発展に取り組んでいます。

瑞宝双光章

柴田 文興さん（登米町・75歳）



1993年に保護司を委嘱されてから現在に至るまで、23年間の長きにわたり更生保護事業の発展に多大な貢献をしています。08年からは宮城県保護司会連合会理事として、宮城県下の更生保護の発展にも尽力されています。

瑞宝单光章

遠藤 孝さん（迫町・67歳）



1971年に登米地区消防事務組合に入庁。04年に消防本部警防課長、07年には登米市消防署長に就任。09年に退職するまでの38年間、住民の生命と財産の保護および地域防災力向上に尽力されました。

瑞宝单光章

小野寺 昭雄さん（登米町・79歳）



1961年に登米町消防団に入団。96年に登米町消防団副分団長、03年には登米町消防団副団長として、地域防災の確立に貢献しました。06年に退団するまでの45年間、住民の生命と財産の保護および地域防災力向上に尽力されました。

藍綬褒章

只野 信子さん（中田町・68歳）



1998年民事調停委員、家事調停委員に任命。12年には登米調停協会理事、14年には最高裁判所長官表彰を受章。調停委員として18年間にわたって家族・親族間の争いなどの家事調停や、金銭問題などの民事調停に携わってきた功績が認められました。

日本消防協会表彰

佐藤 千賀子さん（中田町・66歳）



1991年に中田町婦人消防隊に入隊。97年に同消防隊隊長、07年には登米市婦人消防隊副隊長に就任。13年から同消防隊長に就任し、地域防災力向上の牽引者として、地域の安全安心の確保に多大な貢献をしています。

教育委員に再任

畠山 信弘さん



2016年5月20日に任期満了を迎え、3月9日の定期議会で任命の同意を得て再任。任期は16年5月21日から20年5月20日までの4年です。

広がれ熊本への支援

日野さんがポスター寄贈

迫町下舟丁出身の書家・デザイナーの日野薫^{かおる}さんは5月9日、市役所迫庁舎を訪れ、熊本地震の被災者を支援しようと、自らがデザインしたポスターを市に寄贈しました。

日野さんは「東日本大震災で、全国から支援をいただきました。今度は私たちが恩返しする番。熊本への支援の輪を少しでも早く広げたいと考えました」と作成の理由を述べました。ポスターのデザインは、熊本地震の被災者支援イベントや募金などの活動目的であれば、無料で提供すること。データの取得方法は、日野さんのウェブサイト「薫る風」に掲載されています。



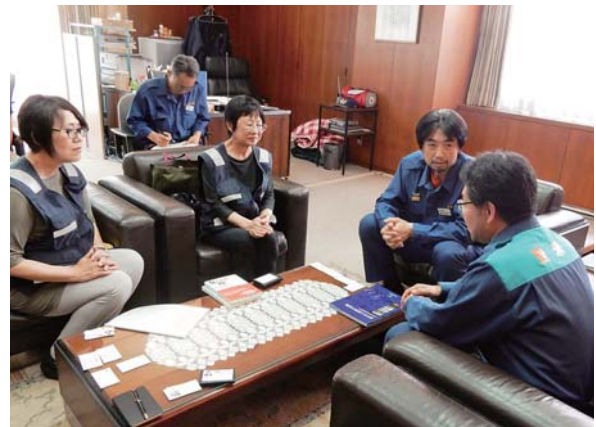
ポスターはピンクを基調としたデザインで、花は支援する人のいろいろな思いを、ハートは多くの人の優しさを表しています。

早期復旧の願い込め

熊本県御船町などを訪問

熊本地震で大規模な被害を受けた熊本県菊池市、合志市、御船町に、布施孝尚^{たかひさ}市長、星危機管理監ら4人が5月17から19の3日間、訪問しました。訪問には、東日本大震災時に避難所で女性支援に当たった須藤明美^{あけみ}さん、本市男女共同参画審議会前会長の浅野富美枝^{とみえ}さん（宮城学院女子大学教授）が同行し、避難所での女性支援などについてアドバイスしました。

18日、御船町役場を訪れた一行は、避難所運営などの業務に追われる町職員を激励。市からの見舞金を藤木正幸^{まさゆき}町長に手渡しました。御船町には、3回にわたり延べ10人の市職員を派遣しています。



布施市長は藤木町長に「復旧に向けて大変だと思います。今後さまざまな形で支援していきたい」と話しました。

豊かな緑を次世代へ

津山で森林づくり植樹祭

市民参加の新たな森林づくり春・植樹祭（登米市・宮城県共催）は5月22日、津山町大萱沢地内で開催されました。この事業は、市と県が、人と自然の交流、森林づくりを進めようと毎年春と秋に開催。県の「みやぎ環境交付金」を活用し実施しています。

当日は一般参加者約150人が参加。0・48㍓の敷地に、約千本のスギの苗木を植えました。植樹祭に参加した小野寺政彦^{まさひこ}さん一家は（中田町本町畑中）は「息子の小学校入学を記念して、家族全員で植樹しました。今日は天気も良く、楽しく作業できました。自然に触れられるいい機会ですね」と話していました。



当日は好天に恵まれ、順調に植樹を終了。それぞれの成長を標柱に記し、木の成長を願いました。

未来の自分を探しに

佐沼中生が職業体験学習

佐沼中学校(小野寺文晃校長)2年生の職業体験学習は5月25から27の3日間、市内事業所の協力を得て開かれました。市役所で職業体験したのは、菅原紫恩さんと菅原凜さん、阿部快飛さん、末永陽士さんの4人。25、26日は総務部総務課と迫総合支所で窓口受付など、27日は、広報紙編集の仕事を体験しました。

4人は、職員から仕事内容やカメラの使い方などの説明を受け、早速市内へ取材に。体験後4人は「どの職場も、あいさつや時間を守るなど、小さい頃から教えられていることが大切だと分かりました」と3日間の社会人体験を振り返りました。



同じく、職業体験中の同級生に取材をする4人。店主への取材交渉から編集まで、慣れない仕事に四苦八苦しました。

大切な命、花も人も

5小学校で人権の花運動

人権擁護協議会委員による「人権の花運動」は6月1日、上沼小学校(阿部直子校長)で開催され、マリーゴールドやペコニアなど160本を植えました。この事業は市内小学生に、花をいつくしみ育てることを通して「思いやりの心」と「命の大切さ」を学ぶことを目的としています。本年度は、柳津、東郷、豊里、錦織、上沼の5小学校を対象に実施。

登米総合産業高校の生徒の協力を得て、花を植栽しました。最後に、児童代表で6年生の及川壺貴君が「学校でいじめが起きないことを願っています。また、学校を花でいっぱいになりたいです」と話しました。



産業高生徒と花を植える児童たち。「お兄さん、お姉さんが優しく分かりやすく教えてくれました」と話していました。

事前合宿地に好印象

カナダチーム本市を視察

2020年東京五輪の事前合宿地選定のため、カナダのボート競技関係者は6月7日、本市のアイエス総合ボートランド(長沼ボート場)を視察に訪れました。

視察に訪れたのは、オリンピック委員会チームサービス部門ディレクターのデレック・コヴィングトン氏と、カナダボート協会ハイパフォーマンスディレクターのピーター・クックソン氏。2人は、艇庫やトレーニング施設、船に乗ってコースを回り、パイの間隔や水深なども確認しました。クックソン氏は「練習に適した素晴らしい施設。なるべく早いうちに選定結果を報告します」と話しました。



ボートランドは、常設で2000mのコースが8レーンあり、国際大会を開催できる国内屈指の環境を誇ります。

市職員募集

このまちのためにできることがある

行政職員・土木職員・消防職員

■試験区分、職種、採用予定人員など

試験区分	職種	従事内容	採用予定人員	受験資格
初級 (高等学校卒業程度)	行政	一般事務に従事	7人程度	平成2年4月2日以降生まれの人
		病院などで一般事務に従事	2人程度	
		水道事業所で一般事務に従事	2人程度	
	土木	専門業務に従事	1人程度	
		水道事業所で専門業務に従事	2人程度	
		消防	消防業務に従事	

※ 採用予定人員は、現時点での予定で今後変更することがあります。

※ 採用は、平成29年4月1日の予定です。

■受付期間

7月8日(金)～8月8日(月)

※申し込み受け付けは平日の午前8時30分から午後5時15分までとし、郵送の場合は受付期間中の消印のものに限ります。

■受験申し込み

申込書と試験実施要綱は、平日の午前8時30分から午後5時15分まで総務部人事課、または各総合支所窓口で、7月1日(金)から配布します。試験実施要綱は、ホームページにも掲示します。

郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用統一試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください。

■試験日程

	1次試験	2次試験
日時	9月18日(日)午前9時～	10月下旬または11月上旬予定
会場	佐沼中学校	1次試験合格者に通知します
試験内容	教養試験(2時間)、一般性格判断検査(20分) 専門試験(1時間30分)※専門試験は土木のみ	1次試験合格者に通知します
合格発表	10月21日(金) 市役所迫庁舎前掲示板、市ホームページに受験番号を掲示し、合格者に郵送で通知します	11月11日(金) 市役所迫庁舎前掲示板、市ホームページに受験番号を掲示し、合格者に郵送で通知します

【申し込み・問い合わせ】

総務部人事課
(人事給与係)
〒987-0511
登米市迫町佐沼字
中江二丁目6番地1
☎0220(22)2145

医療局職員

■職種、採用予定人員など

職種	採用予定人員	受験資格
看護師	30人程度	【免許保有者】昭和42年4月2日以降生まれの人 【免許取得見込者】昭和52年4月2日以降生まれの人で、平成29年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人 ※長期勤続によるキャリア形成の観点から応募資格に年齢制限を設けています
薬剤師	1人程度	薬剤師の免許を持つ人、または平成29年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
臨床検査技師	2人程度	臨床検査技師の免許を持つ人、または平成29年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
診療放射線技師	1人程度	診療放射線技師の免許を持つ人、または平成29年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
言語聴覚士	1人程度	言語聴覚士の免許を持つ人、または平成29年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
理学療法士	3人程度	理学療法士の免許を持つ人、または平成29年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
作業療法士	3人程度	作業療法士の免許を持つ人、または平成29年3月31日までに卒業見込みで免許取得見込みの人
社会福祉士	1人程度	社会福祉士の資格を持つ人で、病院での実務経験がある人

※ 採用予定人員は、現時点での予定で今後変更することがあります。

※ 採用は、平成29年4月1日(資格・免許取得見込みの人は5月1日)の予定です。

■受付期間

6月24日(金)～7月25日(月)

※申し込み受け付けは平日の午前8時30分から午後5時15分までとし、郵送の場合は受付期間中の消印のものに限ります。

■受験申し込み

申込書は、平日の午前8時30分から午後5時15分まで医療局総務課で、6月24日(金)から配布します。郵便で請求する場合は、封筒の表に「応募職種名」、「採用試験申込書請求」双方を朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください。詳細は、市ホームページにも掲載します。

■試験日程

日 程	
試験日	8月7日(日)
会 場	登米市民病院 地域医療連携センター(多目的ホール)
試験内容	小論文試験(1時間)、人物試験、健康診断、資格調査
合格発表	8月26日(金) 市ホームページに受験番号を掲示し、合格者に郵送で通知します

【申し込み・問い合わせ】

医療局経営管理部総務課(人事係)
〒987-0511
登米市追町佐沼字下田中25番地
(登米市民病院内)
☎0220(44)4795

【**貸付期間**】 正規の修業期間内
【**応募資格**】 次の全ての条件が当てはまること▼人物▶市内に在住し、生計の基礎が市内にあり、心身ともに健康な人▼学力▶最終学年の直近

【表】貸付月額

区分	貸付月額	
	自宅通学	自宅通学以外
高等学校	1万円以内	3万円以内
高等専門学校	4万円以内	5万円以内
専修学校	4万円以内	5万円以内
短期大学	4万円以内	5万円以内
大学	4万円以内	5万円以内

【**校種**】 国内の高等学校、高等専門学校、専修学校(高等課程および専門課程に限る)、短期大学、大学(大学院を除く)
【**貸付月額**】 左記表のとおり

市育英資金・浅野兄妹奨学資金貸付について

市では、平成29年4月以降に進学・進級する希望者に、奨学資金を貸し付けます。



市奨学資金貸付予約奨学生を募集

の成績が学年評定3.5以上、または成績順位が上位50%以内の人▼家計▶経済的理由により修学が困難な人

上杉奨学資金貸付について

【**校種**】 大学

【**貸付年額**】 50万円以内

【**貸付期間**】 ▼医学部、獣医学部など▶6年以内▼それ以外▶4年以内

【**応募資格**】 市内に在住し、学資の支弁が著しく困難な人

奨学資金共通事項について

【**募集人数**】 予算の範囲内

【**募集期間**】 7月1日(金)～9月5日(月)

※受け付けは、平日の午前8時30分～午後5時15分

【奨学資金の貸与】

▶市育英資金および浅野兄妹奨学資金、上杉奨学資金の重複応募はできません▼日本学生支援機構など、他の機関が運営する奨学資金を借りてい

る、または借りることが決定している(見込みを含む)場合は貸与できません

【**採用方法**】 奨学生選考委員会審査し、教育委員会で決定(10月開催予定)。

【**応募書類**】 ①奨学生願書(様式第1号) ②学校長推薦書(様式第2号) ③健康診断書(任意様式)。学校発行のものでも可) ④住民票謄本(世帯全員の) ⑤平成27年度納税証明書(世帯全員分および連帯保証人分) ⑥平成27年中の世帯全員の収入が分かる書類▶所得控除の記載がある所得証明書(確定申告書または住民税申告書の写し、事業収入などがある場合は収支内訳書の写し、給与収入のみの場合は源泉徴収票の写しでも可)

※①と②は市ホームページからダウンロードできます。

【**申し込み**】 教育委員会教育部教育総務課(総務係)または教育委員会各教育事務所

【**問い合わせ**】 教育委員会教育部教育総務課(総務係)
☎0220(34)2670

出張市役所を開設します

市民の皆さんが主催する集会や会合などに市職員が出向き、市の政策や事業について説明します。職員派遣の費用はかかりません。

【利用について】市内の団体またはサークルで、おおむね15人以上の参加が見込まれる団体（ただし、政治活動や宗教活動、営利活動を目的とする団体は除く）

【開催時間】年末年始を除く午前9時30分から午後9時まで、時間は30分とします
【会場】市内限定とし、申し込み団体で会場を準備ください。費用が発生する場合は、申込者負担となります。市の施設を使用する場合は無料で

【申し込み方法】総務部市長公室（市役所迫庁舎2階）に備え付けの申込書（市ホームページからもダウンロード可）に必要事項を記入し、開催希望日の2週間前までに申し込みください

【申し込み・問い合わせ】総務部市長公室（広報広聴係）
☎0220(22)2090

分類	メニュー名	メニューの概要（説明、解説したいポイントなど）	担当課
健康・福祉	健康なまちづくり	元気とめ食育21計画と登米市の健康づくりについて～健康寿命の延伸をめざして～	健康推進課
	よく分かる介護保険と高齢者の福祉サービス	介護保険制度全般（介護保険料と利用料、介護サービスの利用方法）・高齢者福祉サービスについて	長寿介護課
生活・環境	循環型社会の構築に向けた市の取り組み	ゴミの減量化・資源リサイクル	環境課
	水道の災害対策	災害時に対する水道の危機管理や、水道水の保管方法、安全対策について	水道管理課
市政・まちづくり	税などの賦課	市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の賦課の仕組みについて	税務課
	数字でみる登米市	統計で見る市の状況など	企画政策課
	市民と協働のまちづくり	市民と行政による協働のまちづくりについて	市民協働課
産業	登米市の産業	市内の農業、林業、商業、工業について	産業政策課
	農地の売買・贈与・貸借などの手続き	農地の売買・交換・贈与・貸借にかかる農地法などの手続きについて	農業委員会

※上記以外のメニューもありますので、詳細は市ホームページをご覧ください。基本的にメニューの中から選んでもらいますが、それ以外のものを希望する場合はご相談ください。
※開催決定は、担当課と調整後、申し込み団体に通知します。

OH!TOME(おとめ)カフェ 受講生を募集

市では、女性が職場や地域の中で活き生きと活動するために、必要なスキルを身につける女性リーダー養成講座を開催します。

【対象】市内に在住する20～50代の女性25人
※原則、全日程受講可能な人。必須講座を含む3講座を受講した人に修了証を授与。
【受講料】無料

【申し込み方法】各総合支所・公民館・ふれあいセンターに備え付けの申込書、または任意の様式に①住所②氏名③年齢④電話番号⑤託児希望者はお子さまの名前および年齢を

記入の上、郵送、ファクシミリ、電子メールでお申し込みください。また、電話でも受け付けます
【申込期限】7月8日(金)

【託児】無料/対象児はおおむね生後1～6歳の未就学児(定員5人程度)
※事前の申し込みが必要
【問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)

〒987-0511 迫町 沼字中江二丁目6番地1
☎0220(22)2173
FAX 0220(22)9164
✉ shiminkyodo@city.tome.miyagi.jp

■日程・内容

日程・場所	講座内容
7月30日(土) 午後2時～4時30分 迫公民館	第一印象できまる 好感度アップ作戦!
8月6日(土) 午後2時～4時 迫公民館	【必須講座】 男女共同参画について考える
8月27日(土) 午後2時～4時 迫公民館	【(県共催)被災地におけるDV予防啓発講座】 高齢者のDV・虐待問題
9月3日(土) 午後2時～4時 石森ふれあいセンター	リーダーシップ力を 高めよう
9月24日(土) 午後2時～4時 宝江ふれあいセンター	子育て支援の中でみつけた“ハッピー”なこと!!
10月1日(土) 午後2時～4時30分 迫公民館	私たちにもできる! 市民活動

市公用車に広告を掲載しませんか

■広告掲載車両イメージ



市公用車への広告掲載希望者を募集します。皆さんのお店などの走る広告塔として活用してみませんか。

【対象者】市内の事業所や事務所、店舗を持つ個人、法人

【広告掲載車両】三菱ミニキャブ5台、スズキエブリイ2台(年間走行距離1万キロ以上、年間稼働日数200日以上)

【申込受付期間】6月20日(月)～7月8日(金)

【申し込み方法】申込書に必要事項を記入の上、郵送またはご持参ください(郵送の場合は「公用車広告掲載申し込み」と記載してください)

【申し込み・問い合わせ】総務部総務課(財産係)
☎0220(22)2091

■広告内容

広告サイズおよび掲載場所	掲載方法	掲載期間	広告掲載料
○1台につき3枠 縦 30㍻×横 50㍻サイズを3枠(車両側面ドア、車両後部に貼り付け) ※広告内容に「登米市有料広告」の表示をすること(サイズ縦 3㍻×横 24㍻以上)	マグネットやラッピングフィルム、カッティングシートなどの容易に剥がれる素材を貼り付けるものとします ※車体への直接塗装はできません	1年間 (平成28年8月～平成29年7月末)	1台当たり4千円/月(年額4万8千円) ※広告の製作費、車両への貼り付け、撤去費用は広告主の負担となります

※募集についての詳しい内容や必要書類などは、市ホームページをご覧ください。

行政への意見・要望を受け付けます

行政相談は、国や県、市などへの意見、要望、苦情を受け付け、その解決のお手伝いをします。相談は無料で秘密は守りますので、気軽にご相談ください。

【問い合わせ】総務部総務課(総務法制係)
☎ 0220(22)2091

■定例相談所

担当地区	開設場所	問い合わせ
迫	迫老人福祉センター	迫総合支所市民課地域係 ☎ 0220(22)2213
登米	登米町老人福祉センター	登米総合支所市民課地域係 ☎ 0220(52)2111
東和	東和総合支所会議室	東和総合支所市民課地域係 ☎ 0220(53)4111
中田	中田老人福祉センター	中田総合支所市民課地域係 ☎ 0220(34)2312
豊里	豊里高齢者趣味の交流館	豊里総合支所市民課地域係 ☎ 0225(76)4111
米山	米山総合保健福祉センター相談室	米山総合支所市民課地域係 ☎ 0220(55)2111
石越	石越総合支所1階 ボランティア室	石越総合支所市民課地域係 ☎ 0228(34)2111
南方	南方農村環境改善センター	南方総合支所市民課地域係 ☎ 0220(58)2112
津山	津山公民館老人講座室	津山総合支所市民課地域係 ☎ 0225(68)3112

※開設時間については、お問い合わせください。



(東和地区)
つとむ
齋藤 勉さん
☎ 0220(42)3682



(登米地区)
よしはる
金田 義晴さん
☎ 0220(52)4240



(迫地区)
しげお
尾形 重雄さん
☎ 0220(22)3443



(米山地区)
とむら
梶淵 亨さん
☎ 0220(55)1301



(豊里地区)
ゆたか
佐々木 豊さん
☎ 0225(76)1527



(中田地区)
ゆうこ
千葉 裕子さん
☎ 0220(34)3104



(津山地区)
みつゆき
今野 光行さん
☎ 0225(69)2420



(南方地区)
きくえ
佐々木 菊枝さん
☎ 0220(58)4382



(石越地区)
こうじ
松浦 耕治さん
☎ 0228(34)2653

高齢者福祉事業の概要をお知らせします



市では、在宅の高齢者に対し、さまざまな福祉事業を実施しています。

●外出支援サービス事業

公共交通機関の利用が困難な人に、福祉車両で外出を支援します。

【利用対象者】 介助が必要な人で、単独でタクシーや公共交通機関を利用することが困難な人

【料金】 1キ当たり1000円。

片道30キ以上の場合は超過10キにつき150円、福祉車両の貸し出しは無料(燃料は自己負担)

【利用範囲】 病院への通院・入退院、社会福祉施設への通所・入退所など

●軽度生活援助事業

食事・食材の確保、家庭内の整理・整頓(生活・家事援助)や家の周りの手入れ、軽易な修繕(その他の生活援助)など、軽易な日常生活を援助します。

【利用対象者】 おおむね65歳以上で1人暮らしの人、高齢者だけの世帯などで、日常生活上の援助が必要な人。要支援、要介護認定者は、介護保険サービスを優先します。

【料金】 ▼生活・家事援助 1時間当たり225円 ▼その他生活援助 1時間当たり

1000円

●配食サービス事業

調理が困難な高齢者などに、栄養バランスの取れた食事を提供します。

【利用対象者】 おおむね65歳以上で1人暮らしの人、高齢者だけの世帯で調理が困難な人、心身の障害や疾病などの理由で調理が困難な人

【料金】 1食当たり350円(週3回を上限とします)

●老人日常生活用具給付等事業

1人暮らしの高齢者などに日常生活用具を給付します。ただし、所得に応じ利用者負担があります。

【給付する生活用具】 電磁調理器、火災警報器、自動消火器

●ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業

緊急通報装置を無料で貸し出し、急病などの緊急事態に迅速に対応します。

【利用対象者】 おおむね65歳以上で1人暮らしの人、高齢者だけの世帯、1人暮らしの身体障害者

●家族介護用品支給事業

紙おむつや介護用品の購入補助として、介護用品支給券を交付します。

【利用対象者】 在宅の寝たき

り老人など、常時紙おむつなどの介護用品を必要とする人を抱えるご家族

【利用対象者と月額】 ①非課税世帯(要介護4、5) ②月額5千円 ③非課税世帯(①以外) ④月額3千円 ⑤課税世帯 ⑥月額2千円

●介護家族支援レスパイト事業

緊急の事由により家族が介護できなくなった場合や、1人暮らしの高齢者が自宅で生活困難となった場合など、一時的に宿泊を含む介護サービスを提供します(5日以内)。

【利用料金】 1泊1350円。その他食費、クリーニングなどは実費負担

●生活支援ハウス事業

高齢などのため居宅で生活する事が不安な人に対し、一定期間同居を提供します。(利用定員10人)

【利用対象者】 60歳以上で1人暮らしまたは夫婦だけの世帯、家族の援助を受ける事が困難な人

【料金】 利用者の収入により金額が異なります。食費、部屋の電気料などは実費負担です

【問い合わせ】 福祉事務所長 寿介護課(長寿社会係)

☎0220(58)5551

健康

7月の献血日程

- 2日(土)**
▶イオンタウン佐沼
10:00～11:45
13:00～16:30
- 7日(木)**
▶佐沼警察署
9:30～11:00
- 8日(金)**
▶J Aみやぎ登米本店
(迫支店)
10:00～11:30
- 18日(月)**
▶イオンタウン佐沼
10:00～11:45
13:00～16:30
- 27日(水)**
▶市消防防災センター
9:30～12:00
▶県登米合同庁舎
(登米保健所)
13:30～16:30

※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
☎0220(58)2116

登米いのち ホットとレホン

はなそうとめ
☎0120(870)108

(登米市民専用)

登米いのちホットとレホンは…
○24時間いつでもかけられます。
○名前を名乗る必要はありません。
○電話相談員は、2年間の研修を終了し、認定された人たちです。
○固定電話のほか、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

こども夜間安心コール

- 電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
- 相談時間
毎日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
☎0229(24)2267

開催日	時間	場所
7月5日(火)	9:30～11:30	津山若者総合体育館
	13:30～15:30	豊里公民館
7月12日(火)	9:30～11:30	登米公民館
	13:30～15:30	錦織公民館
7月19日(火)	9:30～11:30	中田農村環境改善センター
	13:30～15:30	石越公民館
7月26日(火)	9:30～11:30	米山公民館
	13:30～15:30	南方公民館

くらし・しごとのお悩み
出張相談会

暮らしや仕事、健康など、いろいろな問題の解決方法を一緒に考えます。相談は無料。事前に予約が必要です。

【予約問い合わせ】くらし・しごと相談センターともまち登米
☎0220(23)9963
FAX0220(23)9964

子どもの人権110番 相談時間を延長します

仙台法務局および宮城県人権擁護委員連合会では、6月27日(月)から7月3日(日)までの7日間を、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間と定め、時間を延長して電話相談を受け付けます。

学校での「いじめ・体罰」、家庭内での「児童虐待」など、子どもをめぐるさまざまな人権問題について、人権擁護委員が電話相談に応じます。秘密は厳守しますので、ご相談ください。

【開設時間】
①6月27日(月)～7月1日(金) 午前8時30分～午後7時
②7月2日(土)、3日(日) 午前10時～午後5時

【相談料】 無料
※予約は不要です。

【相談先電話番号】
☎0120(0007)110
(フリーダイヤル)

【事前の問い合わせ】 仙台法務局人権擁護部
☎022(225)5743

県看護協会登米支部が 健康相談に応じます

宮城県看護協会登米支部による「町の保健室」です。

看護師・保健師・助産師が
血圧測定・肌年齢測定をし、
健康相談に応じます。

【日時】 7月9日(土) 午後1時～3時

【場所】 イオンタウン佐沼(セントラルホール)

【参加費】 無料

【問い合わせ】 宮城県看護協会登米支部代表 佐々木薫
(米谷病院内)

☎0220(42)2007

7月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当
4月	中田保健福祉会館 13:30～15:30 ☎0220(34)2311 医師
12月	米山総合支所 10:00～14:30 ☎0220(55)2112 カウンセラー
13月	豊里公民館 13:30～15:30 ☎0225(76)4113 カウンセラー
26月	登米総合支所 9:30～11:30 ☎0220(52)5054 医師

精神科医師などが相談に応じます(要予約)。
不明な点は各総合支所市民課に、南方地区の皆さんは、健康推進課にお問い合わせください。

7月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
3日	登米診療所(登米町) ☎0220(52)2175	登米歯科診療所(登米町) ☎0220(52)3420
10日	遊佐内科胃腸科医院(迫町) ☎0220(22)2177	みなみかた歯科医院(南方町) ☎0220(29)7020
17日	わたなべ内科クリニック(迫町) ☎0220(21)5335	かさま第2歯科医院(石越町) ☎0228(34)3887
18日	サンクリニック(南方町) ☎0220(29)6060	小寺歯科医院(豊里町) ☎0225(76)1214
24日	佐幸医院(迫町) ☎0220(22)7003	ごとう歯科医院(迫町) ☎0220(22)7111
31日	おおたおおたにクリニック(中田町) ☎0220(35)1161	なかつやま歯科医院(米山町) ☎0220(55)2755

●診療時間 9:00～17:00
【休日急患当番医】
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084
※月～金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



今季の活躍を心に誓う結団式 5月17日

登米市スポーツ少年団迫支部の結団式は、迫体育館で開催され、25団体総勢約500人が各団のユニフォーム姿で参加しました。

結団式では、活動内容や目標、指導者などへの感謝の言葉を述べました。各団を代表して5人が壇上で団員綱領を朗読し、全員で力強く唱和しました。

会場には、多くの保護者らが来場し、子どもたちの勇姿に拍手を送っていました。

運動会で響く迫力ある吹奏楽 5月14日

登米中学校と登米高校の吹奏楽部が、登米小学校大運動会で演奏しました。

これは、宮城県教育委員会の「みやぎの志教育支援事業」の指定を受けた小・中・高の連携教育の一環として実施されました。

中・高生のさわやかで迫力のある演奏に合わせ、小学生は元気いっぱい行進。来場者は一体となった小中高生に、大きな拍手を送りました。

登米



東和



交通死亡事故ゼロ6千日達成 5月18日

米谷地域づくり推進協議会(秋葉^{しげお}茂雄会長)は、交通死亡事故ゼロ6千日を達成し、東和総合支所で市交通安全対策協議会長と県登米警察署長から褒状が贈られました。

褒状を受領した秋葉会長は、「私たちだけでなく、皆さん一人一人が交通安全に取り組んだ結果です。今後も記録を伸ばしていきたい」と話しました。

同地区では、1999年12月14日から交通死亡事故が発生していません。

ふるさとの思い出を懐かしむ 5月21日

東京中田会(小峯^{きはち}喜八会長)の総会は、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷で開催され、市から市長や市議会議員ら7人が出席しました。

懇親会では、中田産のキュウリなど地元食材を使用した料理や、登米総合産業高校と伊豆沼農産のコラボ商品「初恋さくら」がテーブルに並びました。

参加者は、おいしい料理に舌鼓を打ちながら、ふるさとの懐かしい思い出や近況を語り合いました。

中田



豊里



大きく育てと願い込め田植え

6月1日

豊里小・中学校では、みやぎ登米農協青年部の協力の下、同校校庭で「バケツ稲の田植え」を開催しました。

田植えは、地域産業である米作り体験を目的に実施されたもので、同校3年生74人が参加。児童は、同青年部の皆さんが育苗用の土を入れたバケツに水を入れ、手で代かき。仕上げは、大きく育つようにと願いを込めながら、三角形の形に苗を植えました。

子どもたちは、初めての体験に大喜びでした。

被災地の早期復興を願い募金

5月24日

中津山小学校（小野寺由子校長）6年の久保舞桜さん（追土地）、千石桃嘉さん（栗ヶ崎）、黒田璃々花さん（清水）が、市社会福祉協議会米山支所を訪れ、熊本地震災害募金と手紙を千葉春利米山地区委員長に手渡しました。

これは、小野寺校長の「私たちに何ができる？」の呼びかけに、3人が中心となり運動会で募金活動をしたものです。

集めた募金4万6231円と応援の手紙は、社会福祉協議会を通じて被災地へ届けられます。

米山



石越



伝統を引き継いで華麗に舞う

5月19日

石越小学校では、5・6年生が「鳥舞」を毎年運動会で演舞しており、2学年合わせて75人が練習に励みました。

鳥舞で身に付ける兜は、5年生が4年生の3学期から作り始め、5月初旬までかかり仕上げたものです。

児童は鳥舞の衣装を身にまとい、講師が演奏する神楽囃子に合わせ、真剣な面持ちで練習していました。練習最終日であるこの日、児童と講師は練習に一層熱が入っていました。

楽しませたいと竹細工を展示

5月10日
～31日

東郷公民館では、佐々木正俊さん（原）の竹細工を教養娯楽室に展示しました。

この展示は、佐々木さんが来館者に楽しんでもらいたいとの思いから実施。展示された竹細工は、茶杓やつい立て、一輪挿しなど、どれも目を奪われるような作品です。

生け花は、同公民館事業の生け花・パッチワーク教室の講師である渋谷笑子さん（北本郷）の作品。生け花がより一層、竹細工それぞれの個性と魅力を引き立てています。

南方



津山



子どもの成長を願う稚児行列

4月29日

柳津虚空蔵尊では、33年に1度の秘仏ご開帳記念として稚児行列を柳津地区で開催し、3～8歳児65人が参加しました。

当日は、きれいにお化粧した子どもたちが、華やかな衣装をまとい、保護者らと一緒に柳津小学校からみやぎ北上商工会津山支所までの区間をゆっくり練り歩きました。

沿道には多くの住民が集まり、かわいらしい姿の子どもたちを温かいまなざしで見つめていました。

一般向け

PICKUP-04 日本を揺るがせた怪物たち



田原 総一郎／著
田中角栄、小泉純一郎・・・日
本を牽引した彼らが、田原総一郎
だけに語ったこと。

PICKUP-05 大橋鎮子と花森安治
『暮しの手帖』二人三脚物語



塩澤 実信／著
社長の大橋鎮子とパートナーで
編集長の花森安治が『暮しの手
帖』を築き上げるまでの苦闘と希
望の物語。

PICKUP-06 伊達の企て



近衛 龍春／著
この東北魂を見ろ！伊達政宗の
新たな人物像を巧緻な筆致で描
く、「もう一つの関ヶ原」。

子ども向け

PICKUP-01 深く、深く掘りすすめ！
〈ちきゅう〉



山本 省三／著
1万メートル先の地底に挑む、地
球深部探査船〈ちきゅう〉の活
躍ぶりを紹介します。

PICKUP-02 かざれる！あそべる！春夏秋冬お
りがみおもちゃ



いまい みさ／著
花や虫、身の回りにあるものから
季節の飾りなど、1年中使えるお
りがみ遊びの本です。

PICKUP-03 脱走ペンギンを追いかけて



山本 省三／作
水族館から脱走したペンギンの
ニュースを見た広太は、その日か
らペンギンを探しはじめます。

●Library Topics

みんなの図書館

～利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします～

AVシステムが利用できます

中田図書室では、AVシステムを本年5月に更新しました。

皆さんがご覧になりたいビデオテープ（VHS）やDVD、ブルーレイをお持ちいただければ、図書室内で視聴できます。視聴する際はヘッドフォンを装着していただきます。モニター1台で5人まで一緒にご覧になれます。全部で4台設置していますが、ブルーレイ対応のシステムは1台だけです。

AVシステムを利用する際は、中田図書室のカウンターにお申し出ください。皆さんのご来室をお待ちしています。



- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など
(中田図書室は祝日も開室)
※その他、館内整理など不定期での休館
もありますのでお問い合わせください
- 問い合わせ 迫図書館 ☎22-9820
登米図書館 ☎52-5330
中田図書室 ☎34-8081

This Month
Pick Up
Hot
Communication

Books

Health

Young

Dream

Child

Half
Century

One's
Home

5月25日までの3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



佐藤 七々ちゃん
(迫町板橋)



佐々木ことみちゃん
(迫町江合)



相模 璃桜ちゃん
(迫町光ヶ丘東)



小林 虹凜くん
(迫町大綱東)



及川 陽翔くん
(迫町大形)



及川 純仁くん
(迫町江合)



五十嵐 陽莉ちゃん
(迫町西表)



阿部 和奏ちゃん
(迫町大綱東)



佐藤 美結ちゃん
(東和町米谷6区)



佐藤 幸虎くん
(東和町米谷8区)



櫻井 陽太くん
(登米町金谷)



源間 結斗くん
(登米町鉄西)



宮崎 正磨くん
(迫町駒木)



三浦 渚紗ちゃん
(迫町天形)



廣田 唯杏ちゃん
(迫町山の上)



鈴木 優真くん
(迫町駒木)



菅原 海斗くん
(中田町白地)



佐藤 杏香ちゃん
(中田町十文字)



佐藤 奏斗くん
(中田町二ツ木)



佐々木 慎之介くん
(中田町冠木)



西城 智喜くん
(中田町蓬原)



今野 莉柁ちゃん
(中田町加賀野一)



小野寺 陽愛ちゃん
(中田町館)



山田 奏緒ちゃん
(東和町錦織1区)



佐藤 日向くん
(米山町新田)



加美山 旬くん
(豊里町新町)



阿部 優杜くん
(豊里町下町)



峰田 穂花ちゃん
(中田町南加賀野)



長谷川 有希ちゃん
(中田町加賀野二)



千葉 惇奈ちゃん
(中田町長崎)



鈴木 陽太くん
(中田町野元)



鈴木 夢菜ちゃん
(中田町大綱)

歯科健康相談・妊婦歯科相談

市では、子どもから大人まで歯や口に関する悩みの相談を受け付けています。どなたでも無料で相談できます。お気軽にご相談ください。

【開設日】毎月第1月曜日または第2月曜日

【時間】午前9時～11時30分(予約が必要です)

【場所】市役所南方庁舎(1階相談室)

【相談料】無料

【相談医】歯科医師 佐藤 晶子 氏

(健康推進課 歯科保健指導専門監)

※妊娠中の方は母子健康手帳をご持参ください。

【申し込み・問い合わせ】市民生活部健康推進課(健康推進係)

☎ 0220(58)2116



千葉 琉翔くん
(米山町野手谷地)



鈴木 優くん
(米山町後小路)



柴田 織羽ちゃん
(米山町吉田)



阿部 真梨那ちゃん
(南方町板倉)



袋 叶穂ちゃん
(石越町駅前)



八巻 通くん
(米山町城内)

むし歯がなかった子は、市内9地区で49人中40人でした



佐藤 開地くん
(南方町裏大岳)



及川 愛莉ちゃん
(南方町一ノ曲)

齋藤 将太さん(19)

さいとう・しょうた
米山町・野手谷地

- ★**身長と血液型** 167センチでA型です。
- ★**現在は** いずれは公務員になりたいと思います。仙台大原簿記情報専門学校に通っています。きっかけは地域の人たちの温かさ。自分を成長させてくれた地域に感謝していて、将来は支えてくれた人に恩返しをしたいと思ったからです。
- ★**自分の性格** 負けず嫌いです。勉強でもスポーツでも、誰かに負けていると悔しくて人の倍努力をします。
- ★**趣味は** 走ることです。今はカップマラソンや東北風土マラソンのハーフに出場しています。また、本を読むのが好きで、多賀城市図書館で勉強したり、本を読んだりしています。
- ★**休日は** 米山中陸上部の外部コーチをしています。徐々に自分の教えたことが結果につながり、信頼されてきていると実感できうれしいです。また疲れているときは、きれいな景色を見に行ったり、温泉に行ったりしています。
- ★**理想の女性像** 常識や考え方がしっかりしている人です。外せないのは自分より身長が低い人ですね。
- ★**今やってみたいこと** ドライブが好きなので、県外に行ってみたいです。また登米市や自分に関わりのある町などでボランティアをしたいと探しています。
- ★**登米市について一言** 一番落ち着く場所ですね。子どもからお年寄りまで共通して楽しめるイベントがあればいいと思います。



～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
 <応募方法>①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字程度)
 ⑧写真データを添付し応募してください<応募先>総務部市長公室広報広聴係 ☎987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1
 Eメール: koho@city.tome.miyagi.jp

Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

菅原 愛斗さん

すがわら・まなと 米山中1年
米山町・鈴根

世界中の人においしいお米 や野菜を届けたい

僕の将来の夢は、世界中の人においしい
と言ってもらえるようなお米や野菜を作る
農家になることです。

僕の家は農家で、小さい時からお米作り
や野菜作りの手伝いをしてきました。祖
父が作業している姿や出来た作物などを見
て、たいへんだけどやりがいがある仕事だ
と思い、農家を継ぎたいと思うようになり
ました。そして、作るからには、世界の
人々においしいと言ってもらえるお米など
を作ってみたいと思うようになりました。

僕は中学生になりましたが、これからも
家の仕事を手伝い、勉強を頑張りたいと思
います。



Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



るい
菊地 琉生くん(0)

2015年9月3日生まれ
南方町・北大畑
真也さんの長男

生まれた頃から人
見知りもしなく、誰
にでもにこにこ愛嬌
たっぷり♪
これからもみんな
の人気者でいてね。



みあ
田口 愛彩ちゃん(0)

2015年10月27日生まれ
南方町・峯
マイケルさんの次女

ぴいちゃんが大好
き愛彩ちゃん♪
あなたの歌声と笑
顔は周りのみんなを
幸せにさせてくれて
いますよ。笑顔を忘
れず大きくなってね

Half Century

寄り添い半世紀

Monthly Hot Communication



佐々木 芳喜さん (79)
ちあき 千秋さん (80)

豊里町・横町
昭和34年2月入籍

昔一生懸命働いたから今がある

★結婚当時の思い出

【芳喜】最初は文房具屋やっぺど思ってたけど、おばあさんが床屋だから床屋でもいいさとなったのね。見合いで一発で一目惚れだね。

【千秋】最初はお会いしてそれなりに。こっちのほうさ拾われてきて、床屋を1週間後に開店させるために忙しいばかり忙しくて(笑)

★印象深い出来事は

【千秋】趣味のカラオケで、11年前に石巻市民会館で豊里町カラオケ月曜会代表で出たことかな。

【2人】おじいさんが交通安全全功労賞を受賞。金一封頂き

5泊6日で九州を一周してきた。いい思い出だね。

★現在の楽しみは

【芳喜】相撲と野球観戦が一番楽しみ。また晩酌時にめいこい孫が「じいちゃん酒っこ飲む」と聞き、おかずと一緒に用意してくれることかな。

【千秋】カラオケ仲間との旅行だね。

★夫婦円満のコツは

【2人】ケンカもするけど、お互いに思いやって補い合って暮らしている。

★やりたいこと

【2人】おしゃべりしながら、お茶っこ飲みして楽しく過ごしたい。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

田舎のお茶飲み話の役割を今でも

私は、佐沼高校8回生。現在、千葉県習志野市に住み、79歳になろうとしている。在京の同級会は毎年開催され、今年はその幹事役を仰せつかったところである。同級生の名簿を見ると、その半数が東京近郊に在住している。改めてわれわれは、ほかの世代にはない生き方をしていると

思った。高校の頃の登米市は、ほとんどが農家だった。その大半が、生活を維持するのがやっと。長男以外は地元に残らないのが当たり前だった。次男以降は、東京に出ることが普通で、全く不安を感じていなかった。それが当然だった。

坂正直さん (78)

まさなお
東京中田会副会長(登米市在京町人会連絡協議会委員)
中田町(籠壇)出身



た。不安を感じなかったのは、身内や近所の人たちなど、東京での生活ぶりを聞くことができたからだ。隣近所や親戚との交流が盛んで、家に帰れば家族以外の誰かがお茶のみをしていた。こういった古里の風習である、情けに厚い人付き合いに感謝している。

小さい頃、体が弱いこともあり、炬端のお茶のみ話によく同席し、大人の話を傾けた。東京から帰京した際、必ず立ち寄ってくれた母方の伯父は憧れでもあった。

その田舎の風習は、今どうなっているのか、気になるところでもある。こちらの暮らしではほとんど見られない。私は高校のほかに中学校の同級会と東京中田会にも参加している。その集まりが田舎のお茶のみ話の役割をしているように思える。集まれば思い出話をし、古里の近況を報告し合っている。

東京には、登米市の旧町ごとの同郷会が九つある。数年前、その連絡協議会に布施市長が出席し、東日本大震災の被災状況と支援について報告いただいた。誰もがありがたく拝聴した。故郷の近況は、常にわがことのように気になっていたのである。

おらほの産直

産地直売所
「いしこし大好き」



気軽に立ち寄れる 石越の茶の間

今月は、産地直売所「いしこし大好き」の佐藤律子店主にお話しを伺いました。
Q「いしこし大好き」の特徴などについて教えてください
 2001年度にJ.R石越駅の東側にオープンしました。「いしこし大好き」は、誰もが気軽に立ち寄れる石越の茶の間を目指し、くつろぎと憩いの場を提供しています。
 また、惣菜もほとんどここにある野菜で手作りしています。お昼前、店内にみそ焼きのいい香りが広がり食欲をそそります。お弁当も前日まで申し込んでもらえれば500円で配達しています。

Qお勧めのものを教えてください

町内で採れた新鮮な野菜は



もちろんのことですが、5月から販売するトマトは味が良く、おいしいので好評。7月ぐらいから販売するプラムも好評でそれを目当てに来るお客さんもいます。また、農家手作りの漬物や惣菜のコーナーでは餅、おにぎり、ドーナツ、煮物、みそ焼きなどが好評です。さらに店内の佐藤家の食卓ではバイキングを實施。所狭しと並んだ旬の惣菜を好きなだけ買うことができます。その場で食べることもできます。

【問い合わせ】産地直売所「いしこし大好き」
 ☎0228(34)3623

まちの文芸

俳句・川柳

作品募集!

●8月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、6月30日(木)までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。
 ●応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳

宝くじ当たるつもりを使い道

俳句

通学の子等の類にも青田風

苔濡らし躍る溪流夏めきぬ

山間の芽茸屋根の鯉のぼり

鳥雲に去りゆく声の行方かな

あふりかの飢えし瞳やこどもの日

相澤

志子
(東和)

及川

豊子
(東和)

小野寺和彦
(東和)

菅原いよ子
(東和)

阿部武
(中田)

菊地完二
(中田)

背中より春のぬくもり忍び寄り

棚の上に重ねし子等の夏帽子

疾風を樂しむさまの踊子草

草取りに香り漂うバラの花

わが家にも燕巣作り賑賑し

南国の地震の地に伏す鯉のぼり

新茶の香饒舌なりし老い二人

水張りし田のひろびろと夕蛙

近藤 讓行
(中田)

二木ゆきこ
(中田)

山内 晨
(中田)

及川レイ子
(米山)

佐藤喜美子
(津山)

佐藤みゑ子
(津山)

須藤 桂子
(津山)

高橋ちよの
(津山)

情報場 広場 Information

募 集

7月の予定
パソコン相談・教室

●無料相談室

【日時】 7月24日(日) 午前10時～正午

【場所】 津山公民館

【申込期限】 5日前までお申し込みください。

●パソコン教室

①ワードⅡ海水浴の案内状

【日時】 7月12日(火) 午前10時～正午、7月15日(金) 午後7時～9時

②エクセルⅡ初級コース

【日時】 7月19日(火) 午前10時～正午、7月22日(金) 午後7時～9時

【申込期限】 受講日前日までお申し込みください。

【場所】 迫にぎわいセンター

夜間納税相談窓口
(6・7月分)
【日時】 6月30日(木)
7月28日(木)
いずれも午後8時まで
【場所】 市役所迫庁舎
(1階)総務部収納対策課
【問い合わせ】 総務部収納対策課(徴収対策係)
☎0220(22)2169

【受講料】 2千円
【全ての申し込み】 NPO法人パソコン・ネット・みやぎ
☎0220(21)5262

アナウンス技術講習会
受講者を募集

ミヤギテレビのアナウンサーを講師に迎え、マイクに向かう心構えや発声・発音の仕方など基礎的なアナウンス技術を学習します。

【日時】 7月29日(金) 午後1時20分～4時(受け付け11時～1時)

【場所】 登米祝祭劇場(小ホール)

【募集人員】 高校生・一般40人(先着順・受講無料)

【申込期限】 7月15日(金)

【申し込み方法】 電話
【問い合わせ・申し込み】 登米市視聴覚センター

平成 28年度 自衛官を募集します (各種採用試験)

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日
航空学生	日本国籍で 高卒(見込み含む)21歳未満の人	8月1日(月) ～9月8日(木)	【1次】 9月22日(木) 【2次】 10月15日(土)～20日(木)(うち指定された1日) 【3次】 11月12日(土)～12月15日(木)(うち指定された期間)
一般曹候補生		8月1日(月) ～9月8日(木)	【1次】 9月16日(金)・17日(土)(うち指定された1日) 【2次】 10月6日(木)～12日(水)(うち指定された1日)
自衛官候補生	日本国籍で 18歳以上27歳未満の人	年間を通じて ※高校生は8月1日(月)以降	受け付け時にお知らせします ※9月中旬～下旬(うち指定された1日)
		8月1日(月) ～9月8日(木)	9月23日(金)～27日(火)(うち指定された1日)

今年も開催します! 「陸・海・空自衛官募集説明会(登米市会場)」

【日時】 7月24日(日)
①午前10時～11時30分、②午後1時～2時30分
【場所】 石森ふれあいセンター
【説明内容】 ▶自衛隊の仕事・生活面について ▶自衛官(学生)になるためのさまざまなコース紹介や、その後の進路について

▶皆さんからの質問について
【その他】 入場無料・申し込み不要、どなたでも参加できます。陸・海・空の現役自衛官がお答えします。
【問い合わせ】 自衛隊 宮城地方協力本部 登米地域事務所
☎0220(34)2244

確かな技術で まかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告

KUMANEN
快通生活 創造企業
熊谷燃料住設株式会社

災害時安定供給施設

- アクアショップKUMANEN
- BFCクマネン
- コインランドリー 清潔空間
- なごみの家 きらり

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北散田120番1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

サテライトオフィス等 開設支援事業

☎ 0220(22)5219

市にサテライトオフィスまたは支店などを開設する事業者に對し、事業所の開設に要する費用の一部を支援します。

【要件】▼本市にサテライトオフィス、支店などを開設本市への本店の移転を含む。し、新たに2人以上常時雇用(市内在住者)する法人であること▼情報処理・提供サービス業、デザイン・機械設計業、コンテンツ製作等事業、教育業などを行う者

※その他にも要件あり

【補助内容】次の3つの内容で支援します。なお、建物の賃借も対象となりますが、補助内容が異なります。

① 開設に係る固定資産税額相当額を、操業後の課税初年度に交付

② 3千万円を限度とし、土地を除く建物・設備に係る固定資産税課税標準額の2割に相当する額を、操業後の課税初年度に交付

③ 操業開始後、引き続き6カ月以上雇用している市内に住所を有する新規常時雇用従業員数に對し、1人当たり10万円(新卒者は15万円)を交付

【公募期限】平成29年2月28日(火)まで

【問い合わせ】産業経済部ブランド戦略室(ブランド戦略係)

☎ 0220(34)2549

✉ brand@city.tome.
miyagi.jp

※要領を電子メールで送付しますのでご連絡ください。

県統計グラフコンクール 作品募集

【テーマ】自由です。ただし、小学4年生以下は、児童が観察したもの。

【部門】①小学1・2年生の部 ②小学3・4年生の部 ③小学5・6年生の部 ④中学生の部

市営住宅・定住促進住宅入居者を募集	
募集する住宅	
市営住宅	中田大柳住宅21号 (中田町上沼字大柳119番地5) ▶ 募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=1万2千円~1万7900円/駐車場利用は1台まで
	米山清水第一住宅 1-32号 (米山町中津山字清水32番地2) ▶ 募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=1万5800円~2万3500円/駐車場利用は1台まで
	津山宮町住宅 2棟 1号 (津山町柳津字黄牛田高畑22番地1) ▶ 募集戸数=1戸(3K)/家賃月額=1万1200円~1万6700円/駐車場利用は1台まで
定住促進住宅	豊里定住促進住宅 1号棟502号(5階) (豊里町小口前185番地4) ▶ 募集戸数=1戸(3DK)/家賃月額=2万5900円/駐車場利用は1台まで

【入居資格】住宅に困っている世帯。※市営住宅は低所得世帯であること、定住促進住宅は一定以上の所得があることなどの要件があります。詳しくは住宅都市整備課へお問い合わせください。

【申込期限】平成28年7月6日(水) ※期限厳守

【申し込み先】各総合支所市民課または建設部住宅都市整備課(市役所中田庁舎2階) ※郵送不可

【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅整備係)

☎ 0220(34)2316

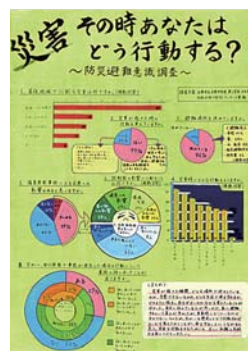
平成27年度 情報公開制度の運用状況

市では、市政に対する理解と信頼を深め、事務事業に対する説明責任を果たすため、情報を広く一般に公開しています。

●市情報公開条例関係	●市個人情報保護条例関係
【開示請求件数】140件	【開示請求件数】15件
▶ 開示 66件	▶ 開示 13件
▶ 部分開示 65件	▶ 部分開示 2件
▶ 非開示 9件	▶ 非開示 0件
【不服申立】0件	【不服申立】0件

【問い合わせ】総務部総務課(総務法制係)

☎ 0220(22)2091



⑤ 高等学校以上の学生および一般の部 ⑥ パソコン統計グラフの部

【規格】72・8センチ×51・5センチ(B2版)

【応募期限】9月5日(月)必着

【問い合わせ・申し込み】〒980-0185 70 仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県震災復興・企画部統計課(企画普及班)

☎ 022(211)2451

DAIYU HOME CENTER **タイユエイト 登米中田店**

オープン

東証一部上場企業

登米中田店 営業時間

〒987-0601 宮城県登米市中田町石森字駒塚400

あき9時30分~よる8時まで

ホームページ http://www.daiyu8.co.jp/

ポイントカード入会キャンペーン

今なら **8月31日**まで **カード発行手数料が無料!**

※通常はカード発行手数料100円がかかります。

タイユエイトポイントカードとは

当日ご入会で、その日のお買物からご利用できるお得なカードです

年会費無料

毎月8のつく日は **8日 18日 28日** **ポイント5倍**

税抜3,000円以上で **ポイント5倍**

DAIYU HOME CENTER **タイユエイト 登米中田店案内図** 広告

ヨークタウン内 **タイユエイト 登米中田店**

●登米祝祭劇場

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

お知らせ

地域の自然環境を守ろう 環境育成講座を開講

地域の自然環境や、それを保全するための知識や方法を学ぶ「登米市環境教育リーダー育成講座(全国モーターボート競走施工者協議会の拠出金を受けて実施)」を開講します。

講座は、宮城教育大学教授など、専門家を招いて実施します。



【開催期間】平成28年7月下旬～平成29年2月中旬(月1回程度、計8回開催予定)

【内容】県レッドデータブックに掲載されている絶滅の恐れのある野生動植物の解説や、生物多様性の保全についてのグループ討議など

【応募要件】市内在住または

市内に勤務する20歳以上の人

【募集定員】20人程度

【受講料】無料

【申し込み方法】各総合支所、各公民館に備え付けている申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入の上、市民生活部環境課へ提出してください(郵送、メールやファクシミリも可)

【募集期間】6月27日(月)～7月8日(金)

【問い合わせ・送付先】

〒987-1044 6
登米市南方町新高石浦130
市民生活部環境課(環境政策係)

☎ 0220(58)5553
FAX 0220(58)3345

☎ 0220(58)3345
E-mail kankyo@city.tome.niyagi.jp

【日時】7月9日(土)午後1時～4時

【場所】気仙沼市立病院

【対象】県内のオストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)および家族など

【内容】術後のケア、器具、社会生活、福祉制度などに関する相談会

【講師】気仙沼市立病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 小野寺幸枝氏

【問い合わせ】(公社)日本オストミー協会宮城県支部
☎ 080(5567)3348
FAX 022(358)1373

【日時】6月24日(金)午後2時～3時30分

【場所】登米保健所2階相談室

【アドバイザー】高次脳機能障害ピアカウンセラー 佐々木智賀子氏

【参加料】無料

【申し込み】受付時間は午前8時30分～5時15分。電話で事前にお申し込みください

情報広場

ねんきんだより

国民年金保険料は納付期限までに納めましょう

平成28年4月分から平成29年3月分までの国民年金保険料は、月額1万6260円です。

保険料は、日本年金機構が送付する納付書で、金融機関やコンビニなどで納められます。また、クレジットカードやインターネットなどを利用しての納付、便利でお得な口座振替もできます。

未納の場合は督促をし、指定された期限までに納付がない場合は、延滞金が課される

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200

【ねんきんダイヤル】
☎ 0570(05)1165

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200

だけではなく、納付義務者【注1】の財産を差し押さえることがありますので、納付をお願いいたします。

所得が少ないなど保険料を納付できない場合は、免除や猶予制度がありますので、市役所各総合支所市民課国民年金窓口へご相談ください。

※【注1】…被保険者本人、連帯して納付する義務を負う配偶者および世帯主。

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200

【ねんきんダイヤル】
☎ 0570(05)1165

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200

【ねんきんダイヤル】
☎ 0570(05)1165

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200

【ねんきんダイヤル】
☎ 0570(05)1165

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200

【ねんきんダイヤル】
☎ 0570(05)1165

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200

【ねんきんダイヤル】
☎ 0570(05)1165

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200

【ねんきんダイヤル】
☎ 0570(05)1165

【問い合わせ】市民生活部 国民年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166
古川年金事務所
☎ 0229(23)1200

安心・安全・安価で予約承り中 広告

お料理 2,000 円より承ります (バス送迎無料)

株式会社
割烹 くまがい

■本社 / 登米市中田中学校通り TEL.0220-34-5002(代)
■総合センター / 中田総合支所通り TEL.0220-34-8707
■花泉営業所 / 一関市花泉町駅前通り TEL.0191-82-2946

思いやりと真心を感謝の気持ちにこめて 広告
迫町佐沼中江にセレモニールームオープン!!

さぬま中江斎苑 (ツルハドラック佐沼店様前)

衣駐専場
30台

病院からの搬送、
直接ホールに入れます。

一式
葬儀料金
20 副
どこよりも安心・安価

株式会社
なかた葬祭
誠香社

24時間電話受付
23-9270

登米祝祭劇場 7月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1(金) ～ 29(金)	●次藤正敏 絵画展「ゴッホを偲んで」 【時間】午前10時～午後5時 (29日は正午まで) 【会場】2階レストラン 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
2(土)	●ラベンダースティック講習会 【開始】午前9時30分 【会場】練習室3 【参加料】500円(要申し込み)	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
3(日)	●第35回県北合唱祭 【開演】午前9時15分 【会場】大ホール 【入場料】無料	県北合唱祭 実行委員会 ☎ 0220(34)3719
6(水) 7(木)	●高校芸術合同鑑賞会 三遊亭遊馬 「ようこそ寄席の世界へ」 【開演】午前10時(両日) 【会場】大ホール 【入場料】1500円(当日のみ) ※一般の人でも2階席でご鑑賞できます	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
7(木)	●三遊亭遊馬 第2回登米もんじゅ寄席 【開演】午後6時30分 【会場】小ホール 【入場料】1500円	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
10(日)	●とめ・くりはらマンドリンクラブ 第17回定期演奏会 【開演】午後2時 【会場】大ホール 【入場料】500円	とめ・くりはら マンドリンクラブ ☎ 0220(29)6618
30(土)	●親子ワークショップ 牛乳パックで作るホイッスルハーモニカ 【開始】午前9時30分 【会場】小ホール 【参加料】300円(要申し込み)	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111

※7月の休館日は、4日、11日、19日、25日です。

【問い合わせ】 県東部保健福祉事務所登米地域事務所(母子・障害班)
☎ 0220(22)6118

**宮城県総合畜産共進会
開催のお知らせ**

●肉豚の部
【日時】 7月15日(金) 午前11時30分～午後1時30分
【場所】 宮城県食肉流通公社(登米市米山町)
【出品頭数】 150頭
●肉用牛の部(肉牛)
【日時】 9月8日(木) 午前11時～午後1時
【場所】 仙台市中央卸売市場 食肉市場
【出品頭数】 55頭
●肉用牛の部(種牛)
【出品頭数】 98頭



【日時】 9月10日(土) 午前9時30分～午後2時30分
【場所】 みやぎ総合家畜市場(美里町)
【出品頭数】 128頭
【同時開催イベント】 畜産物販売、畜産相談コーナーなど
※販売品は、午前中に売り切れとなる場合がありますので、早めにお越しください。
●乳用牛の部
【日時】 9月21日(水) 午前9時30分～午後2時30分
【場所】 みやぎ総合家畜市場(美里町)
【出品頭数】 98頭

【問い合わせ】 一般社団法人宮城県畜産協会(経営支援課)
☎ 0222(298)8473

**議会意見交換会を
市内9会場で開催**

議会では、市民皆さんからご意見を伺う「意見交換会」を開催します。
どなたでも、どちらの会場でも参加できます。お気軽に会場し、意見をお聞かせください。
詳細は、チラシやH@!FM(はっとエフエム)でお知らせします。
【日時・会場】

日時	会場
7月13日(水) 午後7時～8時30分	中田農村環境改善センター
	豊里公民館
	米山公民館
	石越公民館
	津山公民館
7月14日(木) 午後7時～8時30分	迫公民館
	登米総合支所
	東和総合支所
	南方総合支所

【問い合わせ】 議会事務局(議事・調査係)
☎ 0220(22)1913

人と環境への 新しい優しさを 目指して お気軽にご相談下さい	 株式会社 清建 環境プロバイダ 本社 / 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼南駒木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658	 仙台(営) / 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目181 泉ネットワーク・ビル2階 TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980 南三陸(営) / 〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122 URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp
	有限会社 清建物流 TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535 本社 / 〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1	有限会社 リースキン宮城 TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字 下田中53番地8

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

**後期高齢保険証 国保高
齢受給証の期限は7月末**

75歳以上の人、および65歳以上の障害認定者に交付している「後期高齢者医療被保険者証」と、70歳から74歳までの人（後期高齢者医療被保険者は除く）に交付している「国民健康保険高齢受給者証」の有効期限は、7月31日までです。新しい被保険者証や受給者証は、7月下旬に簡易書留で郵送します。

新しい被保険者証や受給者証を受け取ったら、記載内容に誤りがないかを確認してください。現在使用している被保険者証や受給者証は、有効期限が過ぎたら破棄してください。

【問い合わせ】 市民生活部国保年金課
☎0220(58)2166

相談

**一人で抱え込まないで
多重債務者無料法律相談**

【日時】 7月8日(金)、7月22日(金)午後1時15分～4時15分

【場所】 迫にぎわいセンター

【担当】 8日 開発育子(司法書士)、22日 川毅(弁護士)

【相談専用電話】 ☎0220(34)2308

【相談料】 無料(要電話予約)

【問い合わせ】 産業経済部商業観光課(商業振興係)

☎0220(34)2734

**障がい者の自立に向けて
しごと相談を開設**

【相談日時】 7月26日(火) ①午前9時30分～②午前11時～③午後1時30分～④午後3時～

【場所】 県東部保健福祉事務所登米地域事務所

【相談担当・申し込み・問い合わせ】 ▼障害者就業・生活支援センター「ゆい」

☎0220(21)1011

▼福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)
☎0220(58)5552

※職業のあつせんではありませんのでご注意ください。

**年金相談に応じます
年金相談所を開設**

相談は完全電話予約制。前日までにご連絡ください。

※予約の際に「相談者氏名」「基礎年金番号」「電話番号」「相談内容」などを確認させて

いただきます。

【日時】 7月28日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】 市役所南方庁舎(2階中会議室)

【予約受け付け・問い合わせ】 古川年金事務所
☎0229(23)1200

催し

**出会いを楽しみませんか
市結婚活動支援事業**

●恋音・夏

【日時】 7月31日(日)午後1時～5時30分(受け付けは午後0時30分)

【場所】 アルテラスおおあみ(迫町佐沼字大網390-15)

【対象者】 25～40歳の独身男女

【定員】 男女各10人

○第1回自分磨きセミナー

【参加費】 無料

○第1回出会いイベント

【参加費】 男性3千円、女性1500円(セミナー受講者

は千円)

※男性はセミナー受講必須。

【申込期限】 7月20日(水)午後6時

【申し込み・問い合わせ】 N

PO法人ハピふるWedding
☎070(5474)4683

**家族で、仲間と、友達と
健康体力測定会を開催**

【日時】 7月17日(日)午前9時～正午

【場所】 登米総合体育館(蔵ジウム)

【対象】 6～79歳の健康な男女(先着100人)

【内容】 ▼6～64歳/握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳びなど ▼65～79歳/握力、上体起こし、長座体前屈、開眼片足立ちなど

【参加料】 無料

【申込期限】 7月13日(水)

【申し込み方法】 教育委員会教育部生涯学習課スポーツ振興係宛てに、電話またはメールでお名前、性別、年齢、連絡先をお知らせください。

【申し込み・問い合わせ】 教育委員会教育部生涯学習課(スポーツ振興係)
☎0220(34)2698

✉ syogaigakusyu@city.tome.miyagi.jp

楽しくものづくり

高倉勝子美術館工作教室

【内容】 真っ白なお皿やカッ

プに特殊なペンで絵を描き、焼き付けます。

【日時】 7月23日(土)、7月24日(日) / 午前10時～12時

【場所】 市高倉勝子美術館(多目的室)

【定員】 各日20人程度(先着順)

【対象】 小学生。親子での参加も可能です(保護者が付き添う場合は幼児でも可)

【参加費】 500円(材料費・入館料込み)

【申し込み・問い合わせ】 市高倉勝子美術館「桜小路」
☎0220(52)2755

※開館時間 午前9時～午後4時30分

**体験イベントもあります
市歴史博物館のお知らせ**

●企画展「夏が来た！～暑さの向こうに見える風景～」

【内容】 夏の過ごし方について民俗資料を中心に、今と昔の暮らしの変化を紹介。

【開催期間】 7月16日(土)～8月21日(日)

※休館日は、毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌平日が休み)。

【展示解説】 ▼日時 7月17日(日)午前11時～11時30分 / 8月14日(日)午前11時～11時30分

7月の納税

固定資産税・・・2期
 国民健康保険税・・・2期
 介護保険料・・・2期
 水利地益税・・・2期
 後期高齢者保険料・・・1期

忘れずに納めましょう
 納税は便利な口座振替で

納期限／平成28年8月1日(月)

登米市の人口・世帯数

(平成28年5月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,579	10,195	10,860	21,055 (▲35)
登米	1,804	2,373	2,592	4,965 (3)
東和	2,410	3,278	3,410	6,688 (▲20)
中田	4,991	7,715	8,182	15,897 (13)
豊里	2,144	3,363	3,404	6,767 (2)
米山	2,837	4,640	4,865	9,505 (▲28)
石越	1,605	2,519	2,605	5,124 (▲7)
南方	2,653	4,299	4,522	8,821 (32)
津山	1,197	1,691	1,830	3,521 (▲12)
合計	27,220	40,073	42,270	82,343 (▲52)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています。

市内の交通事故発生状況

(平成28年5月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H28	H27	増減数
人身事故発生件数	104件	109件	▲5件
死者数	0人	1人	▲1人
負傷者数	134人	150人	▲16人
物損事故発生件数	673件	666件	7件

※平成28年1月からの延べ件数

警察署からのお知らせ

○県内では交通死亡事故が多発しています。新年度の環境変化にも慣れ、緊張感が緩和されてくる時期です。気の緩みが重大事故につながりますので、慎重な運転を心掛けましょう。

夜間外出する際は、反射材やLED交通安全ライトを使用しましょう。

市内放射線の測定結果

測定日：平成28年6月8日 単位：マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.05	曇り
消防署北出張所(石越)	0.05	曇り
消防署東出張所(東和)	0.04	曇り
消防署津山出張所	0.05	曇り
消防署南出張所(豊里)	0.05	曇り
消防署西出張所(南方)	0.05	曇り

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

【会場】市歴史博物館(企画展示室)

【入館料】無料

●夏休み企画「タイムスリップしてみよう」体験！発見！昔の夏休み〜

【開催日時】7月30日(土)午後6時30分〜7時30分

【会場】旧亘理邸(博物館敷地内)

【内容】▼昔のかき氷機ってどんなもの？手作りかき氷を作って食べてみよう！▼夜の古民家で聞く、怖い話

【参加費】100円(材料費)

【定員】20人(先着順)

【参加方法】事前に申し込みください。

【申し込み・問い合わせ】市歴史博物館

0220(21)5411

芸術に触れてみませんか
親子を無料ご招待

東北電力は、お子さまに本物の芸術に触れていただきたくてお願い、クラシックコンサートを親子向けにアレンジした親子名曲コンサート「探検！オーケストラの世界」を企画しました。ぜひお申し込みください。

【日時】8月6日(土)午後2時(開場11時)

【場所】登米祝祭劇場水の里ホール

【指揮】鈴木織衛氏

【演奏】仙台フィルハーモニー管弦楽団

【無料招待】800人(抽選)

【申し込み方法】ホームページをご覧ください。
http://www.oyako-meikyoku.jp

【申込期限】6月28日(火)

【主催】東北電力株式会社

【問い合わせ】「東北電力親子名曲コンサート」事務局
0120(381)670

水上の戦い
河北レガッタ2000

佐沼中学校
ボート部、佐沼高校ボート部が
出場します。観戦、応援にぜひお越しください。



【日時】7月1日(金)〜3日(日)

【場所】アイエス総合ボートランド(宮城県長沼ボート場)

【同時開催】東北中学ボート大会

【問い合わせ】河北レガッタ実行委員会
0220(23)7633

お神楽やお囃子など
市民俗芸能大会を開催

【日時】7月17日(日)午前9時〜午後4時

【場所】森公民館

【入場料】千円(チケットは登米祝祭劇場などで販売)



※福祉施設入所者やその職員、高校生以下は無料です。

【問い合わせ】登米市民俗芸能協会事務局(担当：千葉)
0220(34)6748

はんとく苑3施設合同
運動会を開催

施設利用者皆さんが、日常作業で培った力を発揮します。はっと汗を留意していただきますので、ぜひお越しください。

【日時】7月3日(日)午前9時30分〜正午

【場所】善王寺コミュニティセンター(米山町)

【問い合わせ】はんとく苑
0220(55)2727
(担当：赤沼 みのる)

まちのトップアスリート

Athlete

Zoom Up Tome 2016

加藤美奈

カヌースプリントジュニア
日本代表
登米高校3年

Kato Mina

1999年1月11日、米山町生まれ。中学時代は、陸上部に所属し、100mハードルや走り幅跳びで活躍。登米高進学後、カヌー部へ入部する。負けん気と持ち前の持久力で徐々に頭角を現し、1年秋の東北新人大会カヤックシングルで4位入賞を果たす。昨年はインターハイ、国体など各種全国大会へ出場。父、母、兄、妹の5人家族。身長153cm、血液型O型。趣味は音楽鑑賞。好きな芸能人は「NEWS」の増田貴久

登 米高カヌー部、加藤美奈。登米発世界行きの切符を手に入れた。

5月3〜5日に、石川県小松市で開かれたカヌースプリント海外派遣選手最終選考会（以下、選考会）。女子カヤックシングル500mで2位となり、ジュニア日本代表に選ばれた。女子カヤックシングルの代表選出は県内初の快挙だ。代表入りについて「本当に私でいいのかなんて。私より強い選手はたくさんいるのに」と遠慮気味に話す。しかし「選ばれたからには、ベストを尽くし力を出し切るだけ」と語る目には、強い意志が宿っていた。

インターハイ、国体など、全国規模の大会では、準決勝敗退。選考会は、初の決勝進出を目標にしていた。

選考会は天候が荒れ、波はこれまでに体験したことのない高さ。最悪のコンディションだった。工藤大將監督はレース直前、不安げな加藤に「今回は、通常よりパドルを寝かせて、遠いところでこげ。丁寧な操作を心掛ける」と指示を出した。普段とは逆の動きだが、重心が安定し転覆の危険性が低くなる。慣れない動きに戸惑いながらも、予選、準決勝を突破し、目標である決勝に駒を進めた。

初 の決勝、5位に入れば上出来「ゴールまで全力」周りを見ずに「ゴールだけ見る」。普段は絶対に出すことのない指示。全てを出し切り、

完漕させることが狙いだった。

代 表入りが掛かった大一番でも「力を出し切ることしか考えていなかった」。レース前半はそう思っていた。しかし、残り200m。レースは大きく動いた。トップを独走していた選手が転覆した。転覆すれば即失格。どんなに速くても、一瞬の判断ミスが全てを奪い去る。

変わってトップに立った選手も、立て続けに転覆。加藤の3位争いは一転してトップ争いとなった。工藤は「とにかく無事にゴールしてくれ」と祈った。例年、代表は上位2人が選ばれ、残りはレース後の会議で決定される。このままゴールすれば、代表入りはほぼ確定する。

「ここまできたら意地でも2位でゴールする」
普段は欲を見せない加藤の気持ちに火が着いた。ゴールだけを見て、全身全霊を込めてパドルをこいだ。結果、見事2位でゴール。数日後、代表内定の連絡が届いた。

加 藤のこれまでの道のりは、山あり、谷あり。決して順風満帆ではなかった。

小4の時、小学生を対象とした体験事業でカヌーと出会った。うまく乗れず、スタート位置にすら付かなかつた。「みんなを待たせた挙句、自分だけスタートできなかつた。もうカヌーなんて乗らないと思った」と当時を思い出し苦笑いする。その事業には小6まで参加。嫌だと思った

カヌー体験にも参加した。

「スタートできないまま終わるのは嫌だったから」と話すとおり、とにかく負けるのが嫌이었다。負けたくないから、マラソンでも、徒競走でも、必死で練習した。

中 学進学後、陸上部へ。100mハードルを選んだ。1年の市陸上新人大会では8位入賞。順調な滑り出しだったが、徐々に尻つぼみになり、3年の中総体直前で、走り幅跳びに種目変更した。自分より後から入部した同級生に勝てなくなつたらだ。周りとの実力差に諦めている自分がいた。大会直前の種目変更で結果は出るわけもなく、後悔を胸に抱いたまま陸上生活は終わった。

高校では、友達の話でカヌー部に入部。体験入部での楽しさが、小学時代の苦い思い出を忘れさせた。カヌーを始めて2年。時には悔しい思いもした。しかし「諦めて適当に過ごすのはもう嫌。あの頃には戻らない」ときっぱり。仲間たちも「美奈は本当にどんなときも諦めない」と笑顔を見せる。

「カヌーに必要な身体能力で、飛びぬけたものはない。しかし、絶対に諦めない気持ちと、持てる力を出し切る能力は、間違いなく国内でトップクラス」と工藤は目を細める。

自 分に負けたくない本場の「負けず嫌い」に成長を遂げた加藤。自分に負けずこぎ続けた先には、東京五輪が見えてくる。

ときめき人

Tokimeki bito

迫愛会 Jr バレーボール スポーツ少年団

地域と一体となり 目指すは全国8強

Profile

2000年結成。小学1年生から6年生まで9人が
在籍する小学生バレーボールチーム。週3回市内
体育館で練習に励む。



今年で結成17年目を迎えた迫愛会ジュニアバレーボールスポーツ少年団。本年2月に、岩沼市で開催された宮城県小学生バレーボール大会新人大会で初優勝し、県内120チームの頂点に立った。2014年には全国大会に出場。県内では強豪としてその名を轟かす。

メンバーは、6年2人、5年4人、3年2人、1年1人の計9人。メンバーは少なく、決して体格に恵まれているわけではない。全員バレーがチームの合言葉だ。袋和人監督は「バレーはボールを床に落とさなければ勝てるスポーツ。体の大きさは関係ない」ときっぱり。「今年のチームは個の能力が多少劣る分、チーム全体でカバーしている。子どもたちだけでなく、保護者、スタッフと正三角形を作って全国を目指す」と、袋監督は2年ぶ

りの全国大会出場への決意を語る。

全国行きに向けて、保護者も万全の態勢を敷く。会場準備や練習支援、また他県での遠征試合資金調達のため、廃品回収を実施。地域の協力もあり、トラック3台分の廃品を集めた。

子どもたちは、保護者や地域の協力に、試合と練習で恩返し。練習では、どんなに厳しくても手を抜かず、泥臭くボールに食らいつく。

主将の三浦彩羽(北方小6年)は「全国に出場した先輩たちは、周囲に声掛けをし、行動が早くチームでまとまっていた。今年は私と山田玲寧がチームをまとめています。私たちがバレーをできるのはコーチ、保護者、地域の皆さんの協力があるからこそ。目標の全国大会8強入りを目指して頑張ります」と力強く決意表明した。

編集後記

▼先月号に掲載しましたが、全国広報コンクールで入選しました。これは、入選号以外でも取材に協力いただいた皆さん、印刷屋の皆さんなど、多くの人の支えがあつてこそ。そして市民の皆さんおめでとうございます。「ToMe」は皆さんが主役。皆さんの取り組みが全国で評価されたんですよ。(及川)

▼今号では老若男女さまざまな人のインタビューを担当。そこで何を書くべきか悩んでいたところ、上司からアドバイス。書きたいことを書くのではなく、その人の何を伝えたいかが大切。改めて書くことの難しさを痛感しました。(千葉)

▼市中総体の取材に行ってきました。どの選手も勝利を目指して奮闘。そこには、気迫溢れるプレーや涙する姿がありました。また、控え選手は出場選手の勝利を祈り、声を枯らすまで応援していました。生徒皆さんが一体となった中総体。団結する素晴らしさを発見しました。(田代)



モバイルとめ

(携帯電話版ホームページ)

<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<http://tomecity.mail-dpt.jp/>

